

# モモせん孔細菌病の秋期防除を徹底しましょう。

県下全域でモモせん孔細菌病の多発が懸念されています。  
秋期防除の徹底により、次年度の発病を防ぎましょう！

## 生態

本病は、8月以降も風を伴った降雨が多いと、葉から葉への感染を繰り返し、被害が拡大します。

また、本菌は9月以降は落葉痕や皮目から新梢の皮部組織に侵入して潜伏越冬し、翌春の春型枝病斑となります。

被害葉



葉が脱落した所  
＝落葉痕 です



## 秋期防除のポイント

### ◆ 使用する農薬

使用する農薬は各地域の防除暦に準じますが、4-12式ボルドー液又はICボルドー-412は銅の投下量が多く、より高い効果が期待できます。

### ◆ 散布時期

9月10日頃までに1回目の防除を実施してください。その後は、2週間間隔で2回実施してください。台風等で落葉した場合は、落葉痕からの感染が多くなるので、台風通過前に防除を実施してください。

### ◆ 秋期剪定

秋期防除前に、あらかじめ秋期せん定を行い、薬液の透過性を高めた後、防除を実施しましょう。また、ツボ状に発生している部位はせん除しましょう。

### ◆ 防風対策を実施しましょう

川沿いや水田に面している等、風当たりの強い園では、防風ネットを設置するなどの防風対策を行ってください。

問合せ先

ご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせ願います

最寄りのJA又は農林事務所農業振興普及部・農業普及所

病害虫防除所

Tel 024-958-1709/Fax024-958-1727/E-mail [yosatsu@pref.fukushima.lg.jp](mailto:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp)

農業総合センター果樹研究所

Tel 024-542-4199/Fax024-542-4749/E-mail [nougyou.kajyu@pref.fukushima.lg.jp](mailto:nougyou.kajyu@pref.fukushima.lg.jp)

【作成：福島県／公益社団法人福島県植物防疫協会】